公益財団法人　日本ハンドボール協会 編
平成29年5月1日発行（毎月１回１日発行）　通巻567号

ハンドボール

5
MAY.2017
No.567



●第16回女子アジア選手権
●第40回全国高等学校ハンドボール選抜大会
●第12回春の全国中学生ハンドボール選手権大会

公益財団法人　日本ハンドボール協会



代表取締役　青木 理恵









私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方へ不動産を用いたライフプランを日々ご提案しております。　自社ブランドである『YURIKA ROSE』(ユリカ ロゼ)シリーズも順調に分譲し続け、ブランド名も業界に浸透して来ております。
今後も、日本ハンドボールと共に邁進して行きます。

私達、株式会社ユリカコーポレーションは女子ハンドボールを応援しています!!

株式会社ユリカコーポレーション

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2 神田セントラルプラザ1202
TEL：03-3525-8986 / FAX：03-5295-8188　　http://yurika-co.jp/

ハンドボール 5月号 №567



【表紙の写真】第 16 回女子アジア選手権、中国戦の横嶋彩選手

CONTENTS

がんばれハンドボール 20 万人会「サポート会員」3月入会・継続会員

【北海道】小島収治【山形】五島訓二【福島】今野雅益【茨城】稲吉　繁、田中　将、田中汀子【栃木】加藤明夫【埼玉】高田　誠【千葉】勝俣裕二、吉田　修【東京】森松誠二、田村公孝、山﨑貴士、徳高康弘、荻原信裕【神奈川】柄澤　愛、植村　繁、金子龍二【福井】田中晴美、竹内宏騎、竹内海祐、河原玲生、三﨑夢空、竹内遼二、竹内啓人、永森唯透、永森悠透、山田俊輔、長谷川惣唯、長谷川理乃、山﨑碧翔、竹内雅治、竹内理乃、山﨑望寧、鍋島弘樹、鍋島聖弥、青柳　修、青柳　純、北村磨愁、北村萌彩【静岡】坂東廣一【愛知】登丸亨介、齋藤慎太郎、西村亮治【兵庫】丸茂康子【高知】有光正憲【長崎】有光正憲

次号 6 月号（№ 568）は 6 月 1 日発行予定です。

2019・2020に向けて



公益財団法人 日本ハンドボール協会
常務理事 強化本部長
田口　隆

日本代表チーム強化を時系列で区別すると、① 2019 女子世界選手権対策　② 2020 東京オリンピック対策　③ 2020 年以降のための強化基盤づくり　となります。これらが強化本部が取り組んでいく重大なミッションであると考えています。

① 2019 女子世界選手権（熊本）に向けて

去る 3 月 13 日～ 22 日に韓国・水原市にて第 16 回女子アジア選手権（女子世界選手権アジア予選）が行われ、第 2 位で世界選手権の出場権獲得となったことは既に皆様方が知るところであると思います。2017 年 12 月に開催される女子世界選手権（ドイツ）は 2019 年に熊本で開催される 2019 女子世界選手権の一つ前の大会でもあり、女子代表チームにとっては 2020 東京オリンピックに向けての強化を進めていく上で、ハイレベルな真剣勝負の貴重な経験となります。また、女子代表チームの活躍が地元開催の機運を高めることにもつながります。そういった意味では第 16 回女子アジア選手権での女子代表チームが獲得した出場権は大きく貴重なものと言えると思います。しかしながら、課題も多く見つかった大会でもありました。その中でも①フィジカルの向上…大型選手に対抗できるフィジカルを身につける（海外仕様への変換）。②シュート成功率の向上…オフェンス戦術の理解力が向上し、チームとしての統制力も備わりつつある中で、テクニカルなミスが減少し、ノーマークシュートの場面を多く創出することも多くなってきているが、大型ゴールキーパーに対してのシュート精度が悪いのが現状であり､大型ゴールキーパー対策が必要である。③試合経験を増やす…トレーニングとは異なったストレスの中でどのようにゲームをコントロールしていくかを更に追求していきたい。そのためには、海外での国際経験に加え、日本国内での国際経験が積めるように事業展開を考えています。

② 2020 東京オリンピックに向けて

男子代表については、2 月にダグル シグルドソン氏の監督就任が発表されました。新監督の指導の下に強化を進めていきます。男子代表はカルロス オルテガ前監督の熱心な指導の下で 1 月に開催された世界選手権（フランス）へ 3 大会ぶりの出場を果たし、選手たちは世界との戦いに手応えを掴みました。この大会で得た自信をエネルギーとして、シグルドソン新監督とともに課題克服に向けて取り組んでいきます。まずは 4 月中旬から開始されます強化合宿でシグルドソン監督が

描く“世界への挑戦”を共有し、7 月に開催を予定している日韓定期戦で実戦デビューとなります。そして、2018 年 1 月に開催予定の男子アジア選手権で 2 大会連続の世界選手権出場を目指します。

女子代表については先に述べましたように、まずは本年 12 月に開催される女子世界選手権（ドイツ）での飛躍をステップアップと考えています。確実に世界との距離を縮めていくことを目指します。

代表選手はこれらを実行する上でかなり多くの強いストレス（プレッシャー）を受けることになります。それらに強くなって欲しいと望むところではありますが、負担軽減という観点では変革が必要と考えています。、従来からの懸案項目でもあるスケジュール調整などもその一つとなります。日本協会・日本リーグ・社会人連盟・学生連盟などの皆様とも情報共有しながら取り組んでいきたいと考えています。

---

③ 2020 年以降のための強化基盤づくりについて

1 月に開催されました男子世界選手権では徳田・玉川といった若手選手が世界の強者たちに対して臆することなくプレーをしました。国際経験のあまり多くない日本人選手の中では、両選手はユース・ジュニア世代で共に世界選手権を経験しています。この貴重な経験が彼らの財産になっていることと考えます。まさしく“アンダー強化なくして代表強化なし”といったところであります。そういった意味で、本年度から佐藤壮一郎男子アンダー代表強化部会長・楠本繁生女子アンダー代表強化部会長のリーダーシップのもと、アンダーから代表強化が同一ライン上にあるように、アンダー代表強化は当然のことながらフル代表強化にも関わっていただくよう体制強化を進めてまいります。今夏の男子ユース世界選手権・女子ジュニアアジア選手権・女子ユースアジア選手権で将来に向けて可能性を秘めた素質のある選手の活躍を願いつつ、これらの有望なタレントを代表選手へと育てる環境づくりなど、引き続き基盤強化を全力で取り組んでまいります。

---

3 つの大きなミッションを遂行することに加えて、実行した施策で得られた経験・学んだ知識などをタイムリーに指導委員会・NTS 委員会などと連携し、全国の選手・指導者の方々にも、引き続き発信していきたいと考えています。

今後も引き続き、小学生・中体連・高体連・学連・日本リーグ・社会人連盟など全組織と連携を密にとり、日本の将来へと続く強化を推進してまいります。ご協力・ご支援を心からお願い申し上げます。

最後に全国の皆様方からのご支援に感謝申し上げるとともに、その支援に応えるべく全力で取り組んでまいります。

第16回 女子アジア選手権

2017年女子世界選手権予選

Qualification of Women's World Championship, Germany 2017

大会期間：2017年3月13日（月）～22日（水）
開催地：韓国（水原市）
会場：Seo-Suwon Chibo Arena
競技方法：予選ラウンド（2グループによるリーグ戦）後、本戦ラウンド（トーナメント）を行い、順位を決定する。
参加国：8ヵ国；韓国、日本、中国、カザフスタン、イラン、ウズベキスタン、香港、ベトナム
（※モルディブが棄権しました）

日本は準優勝で世界選手権出場権を獲得

最終順位

優勝：韓国
2位：**日本**
3位：中国
4位：カザフスタン
5位：ウズベキスタン
6位：ベトナム
7位：イラン
8位：香港





選手団名簿

役職	名前	所属
団長	蒲生晴明	（公財）日本ハンドボール協会
強化本部長	田口　隆	（公財）日本ハンドボール協会
監督	ウルリック　キルケリー	（公財）日本ハンドボール協会
コーチ	北野香代	（公財）日本ハンドボール協会　横浜市立六角橋中学校
ドクター	井本光次郎	（公財）日本ハンドボール協会　熊本赤十字病院
トレーナー	高野内俊也	（公財）日本ハンドボール協会　日本予防医学協会
トレーナー	岩谷美菜子	（公財）日本ハンドボール協会　ながい接骨院
分析	小笠原一生	（公財）日本ハンドボール協会　大阪大学
分析	嘉数陽介	（公財）日本ハンドボール協会
通訳	藤田　愛	（公財）日本ハンドボール協会

背番号	名前	所属	出身校	試合	得点
1	飛田季実子	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	大阪福島女子高校	98	0
2	安倍千夏	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	筑波大学	1	0
3	藤田明日香	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	四天王寺高校	1	0
8	永田美香	北國銀行	四天王寺高校	1	0
13	勝連知恵	オムロン	宣真高校	21	56
14	横嶋　彩	北國銀行	環太平洋大学	14	42
15	角南　唯	北國銀行	大阪体育大学	18	67
18	田邉夕貴	北國銀行	大阪体育大学	37	93
19	池原綾香	三重バイオレットアイリス	日本体育大学	18	28
24	原　希美	三重バイオレットアイリス	日本体育大学	39	96
26	川村杏奈	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	東海大学	18	15
27	塩田沙代	北國銀行	高松商業高校	19	16
28	永田しおり	オムロン	福岡女子商業高校	59	37
30	亀谷さくら	Vipers（NOR）	NTG High School	13	0
31	多田仁美	三重バイオレットアイリス	日本体育大学	初	
33	角南果帆	三重バイオレットアイリス	大阪体育大学	初	
35	大山真奈	北國銀行	大阪体育大学	初	
39	寺田三友紀	北國銀行	大阪体育大学	初	
41	河田知美	北國銀行	大阪体育大学	1	2





アジア選手権を終えて

女子代表監督　Ulrik Kirkely

日本ハンドボール協会ならびに関係者の皆様には日ごろよりたくさんのご支援、ご協力をいただき御礼申し上げます。

韓国・水原でのアジア選手権は、エキサイティングな９日間となりました。お陰様で目標を達成して 2017 年 12 月に開催されるドイツ世界選手権出場権を得ました。選手もチームスタッフもすばらしい貢献をしてくれました。大会では最初から、熱い気持ちと強い集中力をもってプレーができました。チームの選手たちはやる気とハングリー精神にあふれ、自信をもってこの大会に挑みました。昨年６月以来いろいろと準備してきたことが実を結び、そして何よりも、全員で一つのチームとして常に向上してきたということを、この大会を通して実感することができました。

試合では精神的なバランスを非常によく保ってプレーすることができ、以前に比べて技術的・戦術的なミスを減らすことにつながりました。チームで決めた戦術を忠実にプレーすれば、いつも試合でいいチャンスを作れるということを選手たちも実感したと思います。この大会では頭を使ったプレー、そして熱いプレーがたくさん出ました。

最初の２試合、香港戦とウズベキスタン戦では、大会に臨む自分たち自身の様々なバランスや感情をコントロールするという点で、いいスタートを切ることができました。その後のカザフスタン戦、中国戦（準決勝）、韓国戦（決勝）では、自分たちの最高のレベルと最低のレベルが、どちらも正しい方向へ上がってきたことを見せることができたと思います。何よりも、試合中うまくいかなくなってしまったとき、以前よりも早くそこから脱することができるようになっています。

今大会すべての試合で高水準のDFができました。6:0と3:3の両方のシステムを使い、本当によくコントロールができました。速攻の精度も非常に上がり、多くのチャンスと楽な得点に結びつきました。しかし、攻撃でもいいプレーがたくさんありましたが、ノーマークシュートの際はもっと「クール」になる必要があります。

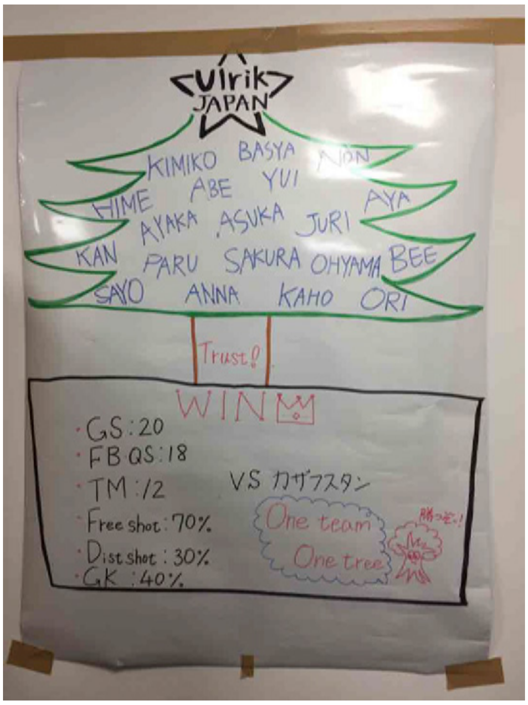
韓国での銀メダルはこの新しいチームにとって満足できる結果であり、若い選手たちにとっては次の世界選手権へ飛び込むための貴重な経験となりました。

反面、選手たちはまだまだとても若く、経験も豊富ではありません。試合内容からも、シュート力、フィジカル能力など問題を痛感しました。このチームの輝かしい将来を楽しみに、課題解決に向けて引き続き全力で取り組んでまいります。

大会中はご声援ありがとうございました。今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。







アジア選手権を終えて

女子代表　原　希美



第16回女子アジア選手権大会出場にあたり、ご尽力いただきました日本ハンドボール協会並びにご支援を戴きました多くの方々に厚く御礼申し上げます。

3月13日から開催された女子アジア選手権大会に向けて、私たちは『世界選手権出場権獲得』という目標を掲げて大会に臨みました。前回の代表メンバーから大幅に選手の入れ替えがあり、若い選手、初めて代表選手として戦う選手が多く、また日本リーグの試合等もあって、準備期間が短く、とても不安がある中での大会となりました。

国内合宿では浦和学院高校、藤代紫水高校の選手の皆さんの力をお借りし、大きい相手を想定して主にDFと速攻に重点を置き、細かい分析や心拍状況データなどを記録しながらトレーニングマッチを行い強化してきました。また、選手間・選手スタッフ間のコミュニケーションを大事にするためにミーティング等を多く行い、共通理解を深めていきました。

大会中は、全試合で選手の中でゲームストップ（ファールで相手オフェンスを継続させない）の回数やミスの回数、シュート成功率など細かい目標を設定し試合に臨みました。その中でもシュート成功率はなかなか目標値を達成することができず、シュートミスで苦しい展開にしてしまう試合が多かったと思います。どの試合を振り返ってみても、良い時と悪い時の波が激しく、選手ひとりひとりの未熟さがプレーに出ていました。準決勝の中国戦では、前半は互角の戦いをしたものの、後半の15分には6点のリードを許してしまう展開となりました。残り15分で6点差をひっくり返すのは正直難しいと判断された方も多いと思います。しかし、最後まで諦めず選手･スタッフみんなで声をかけ続けて戦い、その結果1点差で中国に勝利し、世界選手権出場を決めることができました。戦術面では残り15分で、中国が体力的に落ちてきている時に、粘り強いDFから速攻で押せたこと、体を張ってDFの間を狙い、退場を誘って得点できたことが中国戦の勝因だと思います。

決勝の韓国戦では、前半は高い3：3DFで韓国のミスを誘うことに成功し、日本のペースを掴むことができましたが、後半序盤でDFを崩され、そこから立て直すことができずに大差で敗れてしまいました。ゲームの中の修正力や体力・フィジカル面での課題、個々の未熟さを痛感した試合となりました。

今大会、世界選手権の出場権を獲得することはできたものの、納得のいく内容ではありませんでした。チーム全員がこの悔しさを忘れず､ひとりひとりが真剣に課題と向き合い､日々精進していきたいと思います。最後になりましたが改めて､日頃よりご支援、ご協力、そしてたくさんのご声援をしてくださっている皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

3月14日（火）：グループB

日本　37(17ー5、20ー2)7　香港

ウルリック監督で挑むアジア選手権初戦。香港のスローオフで試合開始。日本はアグレッシブさを武器としたディフェンスで相手の攻撃にストップをかけてゆく。前半2分河田選手が得点し日本が先制する。その後香港のポストシュートで失点するが角南唯、河田、池原、角南果帆選手のスピードある突破で6対1とする。香港のタイムアウト後、DFのシステムを変化させても日本の勢いが止まらず、速攻が成功し17対5で前半を終えた。

後半、今期より代表入りしたGK寺田のビックセーブと巧みなパスがさらにおりひめジャパンの速攻を加速してゆく。角南唯、横嶋、河田選手のアシストからシュートが成功し、一気に18点差と引き離す。香港も2度目のタイムアウトを取りリズムを取り戻そうとするが、日本は塩田、河田両選手のカットインからの攻撃でさらに追い討ちをかける。川村選手の得点と好アシストから藤田選手が2得点を重ね37対7で終了した。この試合のMVPには角南唯選手が選ばれた。

3月16日（木）：グループB

日本　39(16ー7、23ー9)16　ウズベキスタン

日本のスローオフで試合開始。25秒には角南唯のカットインが7mTとなり、河田の得点で先制する。永田が退場になるものの、積極的なDFとGK飛田選手の好セーブで前半7分経過で6対1とする。タイムアウト後、攻撃を立て直そうとするウズベキスタンに対し、固いDFで得点を許さない。一気にたたみかけたい日本だが、相手GKにシュートを連続セーブされてリズムがつかめない。18分を経過した時にDFシステムを3：3にし、相手の攻撃の勢いを止め、更に速攻を加速してゆく。GK亀谷選手のアグレッシブな好セーブも貢献し、16対7で前半を終了した。

後半開始からDFの要、永田・原両選手が日本のDFをリズムに乗せ、プレーメーカー横嶋選手へ攻撃のチャンスをつないでゆく。横嶋選手の巧みなパスさばきでカットイン・サイドへと展開を広げ、後半17分で27対9とする。後半15分、ウズベキスタンの反撃に遭い5失点するが、日本は失点の後のクイックスタートに成功し、10得点をマークした河田選手のシュートで着実に相手チームを引き離してゆき、39対16で終了した。この試合のMVP選手には横嶋選手が選ばれた。

3月18日（土）：グループB

日本　28(11ー11、17ー3)14　カザフスタン

予選リーグ1位通過をかけたカザフスタン戦。相手チームのスローオフで開始。カザフスタン10番のカットインから7mTとなり先制される。DFの間を攻めてくるカザフスタンの攻撃を阻止しにいくが、長身を生かしたプレーを継続させてしまい、前半10分3点リードを許す。日本はここから攻守ともに粘り強さを見せ、田邊選手の連続得点とGK亀谷選手の再三の好セーブで8対7と逆転に成功する。点差をつけたいカザフスタンは3度の7mTを確実に決め、前半11対11で終了した。

後半開始、カザフスタンは体格差を生かしたロングシュートを狙うが、日本DFの強いコンタクトで攻撃が止まってしまう。更に速攻で拍車がかかった日本は、後半7分には17対12で5点リードする。GK飛田の2度にわたる7mT好セーブで勢いを増した日本は、本日4得点を決めた大山選手の活躍もあり、14点差をつけ28対14で終了した。この試合のMVPにはGK亀谷選手が選ばれた。





戦評

3月20日（月）：準決勝

日本　27（12－12、15－14）26　中国

世界選手権の出場をかけた準決勝中国戦。河田選手のカットインで先制する。中国のクイックスタートで攻め返され前半5分で2点リードを許す。日本はカットインで展開を広げてゆくが一進一退の試合が続く。タイムアウト後7人攻撃を仕掛けた日本は7mTで得点を重ねるものの、中国のロングシュートを止めきれず、12対12で前半を終了した。

後半開始、機動的なDFでリズムを掴み始めた日本は、粘り強く7人攻撃を続け、河田・大山選手による7mT得点で中国に食らいついていくが、8分すぎから中国に6連続得点を許し、苦しい展開になる。しかし、自分たちの強みである速攻で反撃開始。主将原選手を中心とした硬いDFが一つの鍵となり、相手の攻撃を遮断してゆく。次々に選手が突破し、執念とも言えるゴールを決め、後半29分横嶋選手のカットインが決まり、27対26で劇的な逆転勝利を収めた。この試合のMVPには横嶋選手が選ばれた。日本女子代表は12回連続で12月ドイツで行われる第18回世界選手出場権を獲得した。



3月22日（水）：決勝

韓国　30（11－15、19－5）20　日本

アジアのチャンピオンを賭けた韓国との決勝戦。日本は前半立ち上がりから機動的なDFを仕掛け、スピードで突破してくる韓国の攻撃を止めてゆく。前半4分角南果帆選手のシュートを皮切りに日本が得点を重ね、17分には9対7とする。GK飛田の再三の好セーブが一気に日本に流れを呼び、前半15対11と日本がリードして終了した。

後半開始、韓国が猛反撃を開始、日本は7人攻撃を試みるが、7連取で一気に逆転。16対19と3点のリードを許す。なんとか相手の攻撃を止めたい日本。塩田選手が次々と相手の攻撃を止めて流れを変え、攻撃では大山選手のアシストにより、得点を追いかけてゆく。GK寺田選手を起用し、巧みなスローで速攻を狙ってゆくが及ばず、20対30で試合終了した。



帯同報告　2017年女子アジア選手権

分析　嘉数陽介

◆第 16 回女子アジア選手権について

３月 13 ～ 22 日にかけて、第 16 回女子アジア選手権（世界選手権予選）が韓国（水原）にて開催され、既報のとおり２位となりました。準決勝で中国に勝利し世界選手権への切符は無事獲得しましたが、タイトル獲得は韓国に阻まれてしまいました。

◆分析班の役割

主に分析担当としての仕事を大きく分けると①対戦国の事前映像収集、②対戦国のチーム・個人の特徴をまとめた映像編集、③練習の振り返り用映像編集、④大会期間中の自国、対戦国の映像収集、⑤自国・対戦国の試合映像編集、⑥試合の量的データ分析などになります。①、④、⑥は情報収集、②、③、⑤は課題と成果を振り返り、修正をはかるための資料づくりとなります。これらは基本的に監督の選手に対するコーチングと、選手自身の自己評価を手助けし、それぞれが必要とした時に有益な情報提供ができるよう可能な限り準備をしました。⑥の量的データに関しては、リアルタイムに試合のデータを記録・集計し、ハーフタイムに分かりやすい形にして傾向を提示することで、監督がゲーム様相を客観的に評価しながら後半のプランニングへ繋げられるよう準備をしました。こういった取り組みを続けてきた結果、選手の量的データに対する意識にも変化が見られ、各試合で攻守における具体的数値目標を選手自ら設定し、試合後の振り返りと新たな目標設定をおこなっていました。データを活用した PDCA サイクルが選手に定着してきたことは必ず今後に繋がると期待します。

◆課題と成果

大会公式記録をもとに、カザフスタン・中国・韓国・日本の４カ国に絞った各試合のデータ集計結果から、今大会を通して示された日本チームの成果として、GK 阻止率の向上（38.6%）、テクニカルミス数の減少（１試合約９本）が挙げられます。一方で課題として示されたのはシュート精度（56.8%）でした（図１～３参照）。12 月には、ドイツで開催される女子世界選手権に出場します。アジアの国々とはまた異なり、更に大型かつパワフル・スキルフルな世界トップクラスのチームと対峙し、戦うことになります。そのため、大型 GK に対し、サイド、ポスト、カットイン、速攻など、より確率の高いとされるシュートシチュエーションから確実に得点できる力をつけていくことは、限られたチャンスを掴むための重要なポイントになってくると考えます。

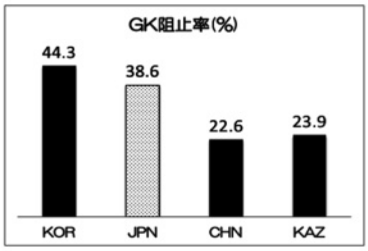


図１　各国の GK 阻止率

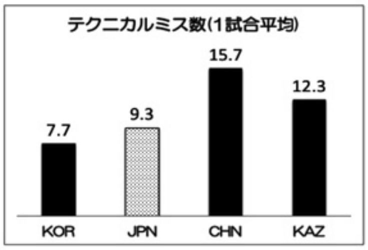


図２　各国のテクニカルミス数

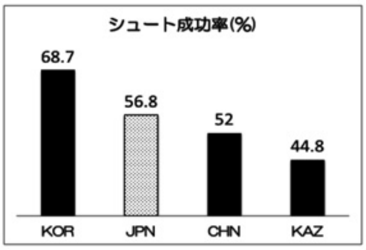


図３　各国のシュート成功率

◆おわりに

今大会に向けた強化活動にあたり、多大なるご支援・ご協力を頂きました日本ハンドボール協会をはじめとする多くの方々に厚く御礼申し上げます。また、いつもご声援を送って頂いている皆様に日々感謝し、今後更なる躍進に向け少しでも結果に貢献できるよう尽力いたします。

女子アジア選手権　過去の成績

回	会期	会場	備考	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位
1	1987/	ヨルダン・アンマン		韓国	中国	日本	シリア	チャイニーズタイペイ							
2	1989/08/20-30	中国・北京		韓国	中国	日本	チャイニーズタイペイ	香港							
3	1991/08/22-09/01	日本・広島		韓国	中国	日本	北朝鮮	チャイニーズタイペイ							
4	1993/08/18-28	中国・川頭		韓国	中国	北朝鮮	日本	カザフスタン	チャイニーズタイペイ	インド					
5	1995/04/06-08	韓国・ソウル	五輪予選	韓国	中国	日本	チャイニーズタイペイ								
6	1997/06/04-09	ヨルダン・アンマン	WC予選	韓国	中国	日本	ウズベキスタン	チャイニーズタイペイ							
7	2000/01/24-30	日本 / 熊本	五輪予選	韓国	中国	日本	北朝鮮	チャイニーズタイペイ							
8	2000/08/10-17	中国・上海	WC予選	韓国	日本	北朝鮮	中国	カザフスタン	インド	チャイニーズタイペイ					
9	2002/07/25-8/1	カザフスタン・アルマトイ	WC予選	カザフスタン	韓国	中国	日本	チャイニーズタイペイ	トルクメニスタン	ウズベキスタン					
10	2004/07/23-25	日本・広島	WC予選	日本	中国	韓国	チャイニーズタイペイ								
11	2006/07/01-05	中国・広州	WC予選	韓国	中国	日本	カザフスタン								
12	2008/11/21-30	タイ・バンコク	WC予選	韓国	中国	日本	タイ	カザフスタン	ベトナム	イラン	インド	ウズベキスタン	カタール		
13	2010/12/19-26	カザフスタン・アルマトイ	WC予選	韓国	日本	中国	北朝鮮	タイ	カタール	イラン	カザフスタン				
14	2012/12/7-16	インドネシア・ジョグジャカルタ	WC予選	韓国	中国	日本	カザフスタン	北朝鮮	ウズベキスタン	チャイニーズタイペイ	インド	イラン	トルクメニスタン	インドネシア	クウェート
15	2015/3/14-23	インドネシア・ジャカルタ	WC予選	韓国	日本	中国	カザフスタン	ウズベキスタン	イラン	インド	香港	インドネシア			
16	2017/3/13-22	韓国・水原	WC予選	韓国	日本	中国	カザフスタン	ウズベキスタン	ベトナム	イラン	香港				

from IHF News　2016年Player of the Year—NeaguとKarabaticが3度目の受賞

2016年Player of the Yearは男子がニコラ・カラバティッチ（フランス）、女子がクリスティーナ・ネアグ（ルーマニア）が夫々3度目のPlayer of the Year賞を受賞した。



ニコラ・カラバティッチ

国籍：フランス
生年月日：1984年4月11日
現在のクラブ：パリサンジェルマンハンドボール
3度目のIHF年間最優秀プレーヤー（2007年、2014年および2016年）

クリスティーナ・ネアグ

国籍：ルーマニア
生年月日：1988年8月26日
現在のクラブ：ZRK Buducnost Podgorica
今年の3度目のIHF年間最優秀プレーヤー(2010年､2015年および2016年)



molten
IHF
OFFICIAL
GAME
BALL

ヤングおりひめ トライアルゲームズ

開催期間：2017 年 2 月 25 日～ 2 月 26 日
開催地：熊本市
会場：アクアドームくまもと



2017年2月25日	女子日本代表U-22	29(14−13,15−11)24	カザフスタン代表
2017年2月26日	女子日本代表U-22	26(16−13,10−11)24	カザフスタン代表

ヤングおりひめトライアルゲームズ開催報告

特命担当常務理事　**栗山雅倫**

【概要】

2017 年 2 月 24 日～ 27 日の日程で、熊本県熊本市のアクアドームにて、標記イベントが開催されました。

この催しは、スポーツ庁委託事業として、女性の強化環境を向上させる目的として実施されたものであり、単なる大会の開催にとどまらず、国際競技力向上へ向けたレクチャーや、特に女性アスリートが参加する大会運営に関する指導等も展開されました。このような国際試合の実施をプラットフォームにしながら、強化環境を総合的に向上させることを目指す取り組みは初であり、今後のさらなる展開が期待されるところです。



【参加対象】

今回の大会には、カザフスタン代表チームを迎え、22 歳以下の日本代表チームが参加いたしました。アジア地域における女子の国際試合数は極めて少なく、このような国際経験のできる機会はとても貴重です。特に大型チームとの対戦は、国際的トップゾーンを目指すにあたって、掛け替えのないものになることは間違いなく、この年代からの経験値の向上が強く望まれます。



【大会の展開】

ヤングおりひめ達は、今回その勇姿を披露してくれたと思います。

今大会の運営に際しては、2019年、世界選手権の様々な面で運営をご担当頂く熊本県の皆様方に、特に大会運営のイニシアティブを取って頂きました。その運営に際しては、国際ハンドボール連盟よりのゲストを迎え、マニュアルだけでは決して行き届かないような配慮にまでご指導を賜り、充実した運営となりました。強化環境の充実に向けて、運営側のスキル向上を、業展開に盛り込んだことは、本プロジェクトの骨子の一つであり、これらの動向が今後の日本の国際力につながっていくものと確信致しております。

【付帯企画について】

本プロジェクトは、国際試合を展開するだけではなく、選手、コーチ陣、運営スタッフへの啓蒙活動も開催致しました。選手・コーチ向けには、IHFの講師であり、国際的なトップアナリストのクラウス・フェルドマン氏を招聘し、ゲーム分析のフィードバック他、一般向けへのコーチカンファレンスも開催して頂きました。選手･コーチとも、世界とのギャップや日本の可能性を、外部の確かな視点でお伝え頂いたことは、国際競技力向上にダイレクトにつながる試みであったようで、ポジティブな所感が報告されております。

また、運営面、レフェリング面に関しては、モニカ・ハーゲン女史、ラース・バーントソン氏を迎え、国際的な実践力の向上が有意義にはかられました。

【今後の展望】

今回の企画は、2017年度にも同様のプログラムを発展させた形態で実施することが既に決まっております。このような機会は、2019年の熊本における世界選手権、2020年の東京オリンピックに向け“待った無し”の現況において、非常に有意義な経験となることは間違いございません。日本ハンドボール界の総力を結集し、今後の活動に結びつけて参りたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。







ジャパネット杯
第40回全国高等学校ハンドボール選抜大会

開催期日：平成29年３月24日（金）～29日（水）
会　　場：グリーンアリーナ神戸
　　　　　神戸市立中央体育館
　　　　　神戸国際大学附属高等学校体育館
　　　　　加古川市立総合体育館
　　　　　高砂市総合体育館



男子は法政大学第二が初優勝！
女子は佼成学園女子が３年ぶり３回目の優勝！

最終順位

男子

優　勝：法政大学第二高等学校（神奈川県）
準優勝：京都府立洛北高等学校（京都府）
３　位：富山県立氷見高等学校（富山県）
　　　　北陸高等学校（福井県）

女子

優　勝：佼成学園女子高等学校（東京都）
準優勝：茨城県立水海道第二高等学校（茨城県）
３　位：明光学園高等学校（福岡県）
　　　　大同大学大同高等学校（愛知県）

写真提供：スポーツイベント社



写真提供：スポーツイベント社

第40回全国高等学校ハンドボール選抜大会を振り返って

大会実行委員会委員長　**大崎 俊人**

今年度で、「兵庫開催」２年目が終わりました。特に大きな事故・怪我がなく終了できたことに日本ハンドボール協会、全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部、地元高体連ハンドボール専門部、また、出場チームのご理解とご協力のお陰であると感謝しております。誠にありがとうございました。

好ゲームの連続で、レベルの高いプレーを間近で体験でき、昨年より観客数も多く、大変盛り上がった大会になったことと思います。昨年の反省を元に、出場チームの監督・選手ファーストで取り組んでまいりましたが、開会式では、第 40 回記念式典もあるということで、縮小化に取り組み過ぎ、出場選手にとっては物足りないものになってまった感が大きく残りました。

また、駐車場の問題も昨年に引き続き、出場チームにご迷惑をおかけしてしまい、大きな課題として残っております。宿泊面においては、JTB西日本様の全面的なバックアップのお陰で、出場チームへの対応も素早くしていただき、誠に感謝しております。競技面においては、オフィシャル TD の導入やスコアシートのコンピューター化を実施し、不安視しておりましたが、各関係教員・生徒の活躍により、スムーズに行なわれたものと自負しております。来年は３年目「兵庫開催」最終年となります。レガシーを残せるように、この２年間で学んだことを活かし、よりよい大会を創っていきたいと考えております。

この２年間、ひとつ残念なのが、今年度は特に、大会記念枠も含めて兵庫県から男女３チームずつ参加させていただいたにも関わらず、成績が振るわなかったことです。是非、来年度は男女共、決勝に進めるような強化を今から実施し、地元がもっと盛り上がれるように取り組んでいきたいと思います。



［男子優勝］法政大学第二高等学校（神奈川県）

法政大学第二高等学校ハンドボール部主将　藤田 龍雅

　第 40 回全国高等学校ハンドボール選抜大会で私たち法政大学第二高等学校は優勝することができました。

　新チームが始まり、新人戦、選抜県予選と順調に勝ち進みましたが、関東選抜大会の決勝で大敗を喫し、大きな課題を課せられました。関東選抜大会からの 2 ヶ月間は、それぞれの課題を克服するために行動を積み重ね、少しずつ自信を取り戻していきました。そして怪我人なく、ベストコンディションで大会に臨むことができました。初戦は、法隆寺国際高校との試合でした。阿部先生から、「大会の入りがすべてだ」と言われ、チーム一丸集中して臨みました。準々決勝の昨年度優勝の岩国工業戦は大きなポイントとなる試合でした。この試合では相手の堅いディフェンスに苦しみました。しかし後半 1 点リードされている状況で、相手 7mT を GK 高橋がセーブしたところから流れをつかみ勝利することができました。準決勝、決勝ともに前半は相手バックプレイヤーの力強いシュートに失点が重なりましたが、2 試合とも後半立ち上がりからの高い集中力で、私たちチームの最大の特徴であるアグレッシブなディフェンスからの速攻で勝利をつかみました。1 つ目の目標である全国選抜大会優勝を達成することができましたが、課題も多く残りました。夏に向けてその課題を克服しさらに成長する努力をしていく決意であります。

　また大会を通して、たくさんの方々の支えがあったことを実感しました。一週間大会を運営していただいている兵庫県の方々、全国各地から来ていただいている審判の方々、高体連役員の方々、そして先生、スタッフ、応援してくれている両親、数え切れないくらいの方々に支えていただいた結果であることを忘れずに、今後もハンドボールに打ち込んでいきたいと思います。





3 点共　写真提供：スポーツイベント社



［女子優勝］佼成学園女子高等学校（東京都）

佼成学園女子高等学校ハンドボール部コーチ　**安藤 希沙**

“失うものはなにも無い” 私たちはチャレンジャーだ !! という意気込みで今大会に臨ませていただきました。これは開き直りではなく、チームの日頃の活動から自然発生的に湧いてきたものでした。

昨年 10 月の国体以降から現チームが始動し、東京都の予選、ニューイヤーカップ（お正月のプライベートカップ）で優勝させていただき、もちろん目標は「日本一」でしたが何となく練習をしているという日々が続きました。そして迎えた 2 月の関東選抜大会。準決勝で茨城県立水海道第二高等学校にラスト 5 秒で逆転負けを経験しました。予防接種したにも関わらずインフルエンザに大敗して臨んだこの大会でしたが、この敗戦を良い契機とし選手達の心の改革に取り組みました。これを私たちは“心を整える”と言っております。まず「ただ頑張れば勝てるのか？」「頑張れば結果は出るのか？」そうではなく「結果を出すために頑張る」のではないか？　また「なぜ日本一になりたいのか？」と日本一になる意味を考えさせました。意味付けは指導者の聞くタイミング、選手のコンディションによって日々変わりますが、それらを常日頃より考えさせることによって選手一人一人の発する言葉・行動が変わってきました。上手くいかなくても前向きに取組みつづける姿勢、チームの一員であるという自覚、仲間を応援する温かい心。この心の充実に比例する様に、練習がより深い内容になりました。その結果、心身共にストレスフリーな状態で今大会に臨めた事が優勝への大きな要因ではないかと思います。

最後になりましたが、今大会を運営して下さいました兵庫県の皆様、日本ハンドボール協会の皆様、全国高体連の皆様ありがとうございました。また、選手を送って下さっている中学の指導者の方々、練習試合でお世話になりました大学関係の方々、東京より温かいご声援を送って下さいました東京都中体連・高体連の先生方、東京都ハンドボール協会の皆様、本学園関係者の皆様、書ききれないほどの方々に感謝を述べたいと思います。本当にありがとうございました。また「決意新たに」頑張らせていただきます。





3 点共　写真提供：スポーツイベント社

戦 評

男子

■準決勝

法政大学第二高校　37(18―15、19―19)34　氷見高校



　昨年度優勝の岩国工業を撃破した法政第二と連日大接戦をものにした氷見の対戦となった準決勝。開始１分、法政第二は西のサイドシュートで先制。すかさず氷見も取り返し、序盤は一進一退の攻防を見せる。12分、氷見に退場者が出ると法政第二は連続得点で初めてリードを奪う。しかし、氷見は人数が少ないが朝野のカットインで点差を離さない上、法政第二がゴールに嫌われる間、３連続得点で逆転に成功した。終盤に入っても互角の戦いは続き、お互いに流れは譲らない。ところが前半終了間際に、法政第二は６番、14番の連続得点で３点差のリードを持って前半を折り返した。

　後半は、開始後から激しい攻防を見せるが、両者のGKがファインセーブを見せ得点を与えない。先制したのは法政第二。白築のシュートで点差を４点に広げた。更に、氷見に退場者が出ると13番にマンツーマンDFを敷くなど、点差を離しにかかる。中盤は氷見が得点を奪えない間、法政第二は３連続得点でさらに８点差まで広げた。氷見はTO後、点差を縮めにかかる。終盤も粘る氷見が３連続得点で３点差にまで迫ったが、法政第二が逃げ切り久々の決勝戦に駒を進めた。

■準決勝

洛北高校　25(11―14、14―10)24　北陸高校



　近畿ブロック１位の洛北と北信越ブロック１位の北陸の対戦となった準決勝。北陸のスローオフで試合開始。洛北・林のミドルシュートで先制するが、北陸もすかさず速攻で２連取。速いパス回しで崩してサイドや中村のシュートで得点を重ねる北陸に対し、洛北・林が果敢にシュートを打ち込み得点を重ねるが、３点差になったところで洛北がタイムアウト。その後、速攻と林のミドルで２連取し１点差に詰めるが、北陸もGK笹本のファインセーブと中村が厳しいマークに合いながらもシュートを打ち込み流れを渡さない。前半終了間際、北陸・落田がポストシュートを決め３点差で折り返す。

　後半、北陸の２連取からスタート。その後は一進一退の展開だったが、北陸の退場が続きその間に洛北が３連続得点し、18分ついに同点に追いつく。終盤までお互いに一歩も譲らない。戦いが続き、残り１分同点で洛北がタイムアウト。そこから粘りに粘った洛北の林のミドルシュートが残り１秒でゴールネットを揺らし、決勝点となった。

■決勝

法政大学第二高校　30(14―14、16―10)24　洛北高校



　今大会、法政第二はノーシードの初戦から、近畿チャンピオンの洛北はシードからともに実力を遺憾なく発揮して勝ち上がってきた。両校とも初優勝を目指した決勝戦。開始早々から洛北６番・７番・８番の３連続シュートが決まる。法政第二もリズムを作り出し、６番のミドルシュートなどで徐々に追い上げていく。中盤は一進一退の試合展開が続き、２点差となった所で洛北がTOを取り、２連続得点で法政第二を突き放しにかかる。終盤に法政第二は４点差を付けられた所でTOを取り、そこから３連続得点で１点差まで詰め寄る。終了間際に洛北が退場をして、法政第二は7mTを決め、前半を同点で終わる。

　後半開始早々、法政第二は２番や14番の４連続シュートが決まり、初めてリードを奪って試合を優位に進め始める。洛北もシュートを放つが、法政第二のキーパーの好セーブにあい、なかなか点を入れることができず、徐々に法政第二に突き放される。法政第二は中盤以降も主導権を握り、８番の逆速攻で点を決めるなど着実に加点していく。洛北も追い上げるが最後まで逆転することができず、法政第二が逃げ切り、２度目の決勝進出で悲願の初優勝を果たす。

３点共　写真提供：スポーツイベント社

戦評

女子

■準決勝

水海道第二高校　29(12ー12、17ー9)21　明光学園高校



実績通り昨年度優勝校の水海道第二と試合ごとに勢いがついてきた3年連続出場の明光学園の対戦となった準決勝。両者とも緊張で固い雰囲気の中、2分過ぎ水海道第二・小林のミドルシュートが決まって始まった。序盤はお互いにセットから点を取り合う展開が続き比較的落ち着いた試合となった。中盤までは明光学園の3-3DFに水海道第二が攻めあぐねシュートまでなかなかいけずにいたが、逆速攻から齊藤のシュートを機に3連続得点を決め、点差を離しにかかった。しかし、すぐさま明光学園も2連続得点で食い下がる。25分過ぎに水海道第二のキャプテンの退場で明光学園のリードとなると思われたが、同点のまま前半を折り返した。

後半開始後、明光学園・山路のサイドシュートで始まったが、水海道第二もすぐさま取り返す。5分過ぎ、水海道第二は11番、3番の連続得点から明光学園の退場も挟み、3連続得点でリードする。中盤は水海道第二の「守って走って守る」が機能し、4点差となり、明光学園はたまらずTOを要求。20分過ぎには明光学園も連続得点などで反撃するが、水海道第二はペースを掴み8点差をつけ終了した。

■準決勝

佼成学園女子高校　24(15ー8、9ー9)17　大同大学大同高校



今大会、お互い実力を発揮して勝ち上がってきたノーシード同士で、大同が勝てば初の決勝進出、佼成が勝てば3年ぶりの決勝進出が掛かる大事な一戦。開始早々、佼成6番がシュートを決め先制するも、すぐさま大同も13番がシュートを決め同点とする。序盤は、佼成が点を取れば大同がすぐ追いつく展開となる。14分には佼成の10番がロングシュートを決め、少しずつ差を広げ流れを掴んでいく。大同も追い上げようとするが、ミスが多くなかなか流れを掴めず、逆に中盤以降佼成に連続得点を許すなど差を縮めることができない。終始優位に試合を進めた佼成が、15対8で前半を終える。

後半の先制も佼成が取り、差をさらに広げていく。序盤にお互い退場者が出るも大同は点差を詰めることができない。大同のキーパーが佼成のシュートを好セーブで止めて流れを掴みかけるも佼成のDFを切り崩すまでには至らず、中盤になっても点を積み重ねられない。大同のキーパーは、佼成の7mTを2連続で止めるなど最後まで好セーブをしていた。佼成がシュートを決めても大同も諦めず4番などが得点をするも詰め寄ることができず、24対17で佼成が勝利を収める。

■決勝

佼成学園女子高校　23(16ー12、7ー9)21　水海道第二高校



昨年度に引き続き連覇を目指す水海道第二と3年ぶりに優勝を目指す佼成学園との対戦となった決勝戦。開始1分、水海道第二の山岸で先制。対する佼成学園は阿部、佐藤の両サイドシュートが3点連続で決まりあっさり逆転する。このまま佼成学園に流れが行くかと思われたが、中盤に入ると、水海道第二も離されまいと食い下がる。19分、佼成学園に退場者が出たことで、水海道第二は1点差まで追い上げる。その後は両者ほぼ互角の戦いを見せたが、終盤に佼成学園がリードを奪い、終了間際には金城のロングシュートまで決まり、4点差で前半を折り返した。

後半も水海道第二が齊藤のシュートで先制。序盤は一進一退の攻防の試合展開となり、点差は縮まらない。中盤は水海道第二も右サイドを使って展開していくが、GKのファインセーブもあり得点に繋げられず、逆に佼成学園はサイドを使って効果的に加点していき、最大5点差まで広げた。終盤に入ると、水海道第二は逆速攻で点差を縮めたいが、2度の7mTを与えたことで、流れをたぐり寄せられず、佼成学園が3年ぶり3回目の優勝を手にし、全国制覇を成し遂げた。

3点共　写真提供：スポーツイベント社


asics
DASH
MORE FAST
ダッシュ性能を追求したスピードモデル。
GEL-FASTBALL 2 NEW
THH545
本体価格 ¥11,800＋税
サイズ 23.0～29.0・30.0cm
0190
ホワイト×ブラック
4501
アシックスブルー×ホワイト

第12回

春の全国中学生ハンドボール選手権大会

日程：平成29年3月26日（日）～3月29日（水）

会場：氷見市ふれあいスポーツセンター・県立氷見高校体育館・氷見市立南部中学校体育館

最終順位

男子

優勝　大阪体育大学浪商中学校（大阪府）

２位　広島メイプルレッズジュニアスポーツクラブ（広島県）

３位　氷見市立北部中学校（開催地）

　　　東久留米市立西中学校（東京都）

女子

優勝　大分市立原川中学校（大分県）

２位　氷見市立北部中学校（開催地）

３位　小松市立芦城中学校（石川県）

　　　大阪市立住吉第一中学校（大阪府）

















８点共　写真提供：スポーツイベント社

第12回春の全国中学生ハンドボール選手権大会を振り返り

富山県中学校体育連盟ハンドボール専門部委員長　**瀬川 裕二**





〜氷見に咲く君は春中ハンドの風になる〜の大会スローガンのもと、平成 29 年 3 月 25 日に開会式が行われ、26 日から 29 日までの 4 日間全国の中学生ハンドボール選手が「ハンドボールの聖地・氷見市」において熱き戦いが繰り広げられました。

春の全国中学生ハンドボール選手権大会は、平成 17 年からスタートし今年で 12 回目を迎えました。昨年度は、2020 年（平成 32 年）までの継続開催が決定された初年度の大会で今年はその 2 年目となり、自立した運営を目指しながら更なる大会内容の充実を目指し開催しました。昨年度から継続して行っているインターネット上のクラウドファンディングによる日本各地のハンドボールファンからの心温まるご支援を賜ったことも大会開催継続の心強い後押しとなりましたことを心より感謝申し上げます。

さて、今年度は大会史上初めて 47 都道府県からチームを迎えることができ、男子 48 チーム（開催地、記念枠、島根県不出場）女子 47 チーム（開催地、記念枠、青森県、新潟県、不出場）男女計 95 チームが参加しました。開会式前のオープニングアトラクションでは、リオオリンピック・パラリンピックで活躍したメダリスト 2 選手の応援メッセージの紹介、ハンドボール漫画「送球ボーイズ」とのコラボレーション企画として、原作：フウワイ氏、作画：サカズキ九氏によるサイン会の実施や顔出しパネルによる記念撮影コーナーを設けるなど、新しい企画で大会を盛り上げ、地元中高生ユニットグループ “寒ぶりっ娘” による大会歌「輝く、君は」も披露され大会ムードが一気に盛り上がりました。

競技は、氷見市ふれあいスポーツセンターをメイン会場に富山県立氷見高等学校会場と氷見市立南部中学校会場の 3 会場で熱き戦いが繰り広げられました。例年、残雪があり雪がちらつく寒い日もあるのですが、今年は好天に恵まれ「富山湾の海越しに見える立山連峰」の素晴らしさが選手・役員の方々の胸にしっかりと刻み込まれたことと思います。また、選手のコンディショニングを考慮し氷見市ふれあいスポーツセンターに富山県アスレチックトレーナー協会の方々に常駐して頂き無料のテーピングサービスを行うと同時に各会場にはドクターを配置し大怪我やインフルエンザなどの感染症対策にも配慮し、選手たちが競技に集中して臨めたことに関係各位に心から感謝します。

本大会は、地域の活性化を図るという趣旨から氷見市内各地域からそれぞれのチームに “おもてなし” の精神で氷見市民がサポーターとしてチームの応援をする制度をとっています。中学生の頑張りを応援する市民も一つ一つのプレーに選手と一緒になって一喜一憂し感動を分かち合っていました。大会中は滞在が長期に渡ることから本大会とは別に “交流試合” を企画しています。新チームになってから間もないということから、交流試合も本大会と同様熱気に包まれていました。

大会の結果、女子の部は両校ともに初優勝を狙う大分県大分市立原川中学校と開催地代表氷見市立北部中学校となり、一度のリードも許さずに粘る氷見北部中学校を振り切った原川中学校が初優勝の栄冠に輝きました。男子の部は、2 回目の優勝を目指す大阪府大阪体育大学浪商中学校と、初のクラブチームでの優勝を目指す広島県広島メイプルレッズスポーツクラブとなり、1 点を争う息の詰まる好ゲームが展開され延長戦にもつれ込む激闘となりましたが、残り 3 秒で得点をした大阪府大阪体育大学浪商中学校が 7 年ぶり 2 回目の優勝の栄冠を勝ち取りました。1 回戦から決勝戦まで選手の気持ちが込められた熱い戦いが展開され、各会場とも大いに盛り上がりました。

終わりになりますが、中学生ハンドボール選手に素晴らしい大会環境を整備し、大会を成功へと導いていただきました日本ハンドボール協会をはじめ関係各位に心より感謝申し上げます。



男子は大阪体育大学浪商中学校が7年ぶり2度目の優勝！



女子は大分市立原川中学校が初優勝！

2点共　写真提供：スポーツイベント社

男子優勝 大阪体育大学浪商中学校（大阪府）

大阪体育大学浪商中学校監督　逢阪 静男

第 12 回春の全国中学生ハンドボール選手権大会におきまして 7 年ぶり 2 度目の優勝をすることが出来、選手は勿論のこと、関係者一同心より嬉しく思っています。これもひとえに日頃からご支援、ご協力をいただいています大阪ハンドボール協会、大阪中体連ハンドボール部、本校の大阪体育大学ハンドボール部、浪商高等学校ハンドボール部の関係者の皆様、大阪体育大学浪商中学校教職員、保護者の皆様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

この大会の出場権を獲得するまでに、大阪府予選となる秋季大会の決勝戦で大敗し、1 月の最終予選でチャンスはあるが、選手たちの中には絶望感で重苦しい空気が漂いました。そして私も 5 年前に退職をし、その後はチームアドバイザーとして係わらせていただいたのですが、3 年前から体調を崩しほとんど練習にも参加できずの状態でした。そこで、新しいチームスタッフとして学校生活面では平井孝典部長が、練習面では大学のインカレ終了時の 12 月から大阪体育大学ハンドボール部の選手であった吉本遼君にコーチとして就任してもらいました。大会前の大変な時期からのスタートで、3 週間の教育実習は経験したものの指導経験もなく試行錯誤の毎日で、しかも今回のチーム編成としては、2 年生が 5 名、1 年生が 2 〜 3 名が入っておりそれぞれ個性の持った選手はいても、チームの核となる者は見当たらない状況でした。他のチームと比較すると精神面、体力面でもまだまだ差が感じられ、何から手を付ければいいのかわからない状態であったと思います。そして、1 月の最終予選ではみんなの力を結集して何とか勝つことが出来ました。しかし出場が決まってから練習試合を行っても納得のいく結果を出すことが出来ず、選手たちも頑張ってはいるものの空回りで反省材料山積のまま富山入りとなりました。

大会初戦の相手は総社西中学校で、常にリードを許し、ミスの多い試合となったが、大差を逆点で何とか逃げ切ることが出来ました。その後試合を重ねるごとに次第に今までの課題が少しずつ機能し始め、選手たちの意識も高まって勢いが増したように感じられました。この裏には吉本コーチの勝負にかける信念と責任感の強さ、毎日の努力があったからこそベンチの指示がコートに伝わり苦しい試合を乗り越え、優勝につながったと思います。今後、指導体制の確立と、選手たちの熱くなった気持ちを夏の全国大会に向けてさらに精進し、将来のハンドボール界で活躍できる選手の育成に努めてまいりたいと思っています。この優勝は私の人生にとって喜びと、感動を与えていただき最高のプレゼントを戴きました。ありがとうございました。

最後になりましたが、この大会を支えてこられた日本ハンドボール協会、富山県ハンドボール関係者の皆様、最後まで応援をしていただいた氷見市のサポーターの皆様、本当にありがとうございました。

大阪体育大学浪商中学校主将　蔦谷 日向

いよいよ決勝戦が始まった。「よし、やるぞ、絶対勝つぞ！」とコートに立ちました。

開始 10 分、僕はレッドカードで失格になってしまいました。「どうしよう、もうコートに立てない…」。情けない気持ちとチームのみんなに申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。チームのピンチです。「ここまで来るためにみんなで毎日頑張って練習してきたから大丈夫、仲間を信じるしかない」。僕は声を出して応援することしかできません。前半 2 点リード、しかし後半で追いつかれ延長戦になりました。延長前半、相手チーム 1 点リードで迎えた後半、残り数秒で逆転、優勝です。

チームの皆には感謝の気持ちしかありません。最高の仲間と優勝することができてとてもうれしいです。こうして優勝できたのも、ご指導いただいた逢坂先生、吉本コーチ、練習に付き合っていただいた先輩方、いつも応援してくれ支えてくれた家族のおかげだと思います。ありがとうございました。これからももっと練習して夏の大会でも優勝できるように頑張りたいと思います。



写真提供：スポーツイベント社

女子優勝 大分市立原川中学校（大分県）

大分市立原川中学校女子ハンドボール部監督　藤下 雅士

今回、第12回春の全国中学生ハンドボール選手権大会に参加することができ、全国制覇することが出来たことは、大変嬉しく思います。

大会期間中、支えて下さった民宿の方や自治会の皆様、氷見市実行委員会の方々、応援してくださった皆様全員に感謝御礼申し上げます。

９月より新チームとしてスタートし、キャプテン石川を中心に目標を「日本一」に掲げ、主に走り込みから練習を始めてきました。順調に練習・練習試合をこなしてきましたが、左右45°のエース萩尾と岩本が膝の大怪我で戦線離脱することになり、私自身も選手たちも動揺しショックで練習に身が入らなかった時期もありました。全員で話し合い、怪我をした仲間の為にも残った選手でもう一度「日本一」を目指して全員で頑張ることを再確認しました。１年生２人を入れて、練習に福岡県・熊本県などに遠征し、また大分県の高校生の胸を借りレベルアップに努力してきました。

今大会の準々決勝までは、堅守速攻が機能し順調に勝ち進んできましたが、準決勝・決勝では対戦相手からも研究され、プレッシャーもあり簡単には勝たせてくれませんでした。しかし、基本プレーを大事に、やってきた事をやり切ろうとする選手たちを見て誇りに思いました。

これも、学校の先生方、大分県協会の方々、それに何よりスタッフと選手を影ながら支えてくれた保護者の皆様に感謝、御礼申し上げます。

今後は、この優勝に恥じることなく練習に取り組み、夏に向けて全員で頑張ってまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

大分市立原川中学校女子ハンドボール部主将　石川　空

「夢、実現」

９月に新チームがスタートして、最初の練習。私たちみんなで話し合い、目標を「日本一」に決めました。

日本一になる為に、まずは行動面から改善しました。①挨拶は大きな声で②コートの中は歩かない③荷物はきれいに並べる。そういう小さなことだけど、とても大切なことだと思います。

練習は主に、走り込みを中心に練習をしてきました。きつい時もありましたが、みんなで声を掛け合い乗り越えることができました。順調にいっていましたが、エースの２人が怪我によりチームはふりだしに戻りました。大分県予選まで一ヶ月しかなく、１人ひとりが諦めそうになる時もありました。そんな時に、みんなで話し合い、自分たちの目標は「日本一」で変わらない！とチームがより団結することが出来ました。練習中、意見が合わず衝突する度に、そのプレーに対して全員が納得いくまで何度も何度も話し合い、原川中のハンドボールを作り上げてきました。

全国大会の一試合目は、緊張からか自分たちのペースに中々なれず、試合内容は最悪でした。宿舎に帰って監督に「このままでは絶対に日本一になんてなれない！」と言われ、選手だけでミーティングをしました。次の日からは、自分たちの持ち味である「堅守速攻」ができ、みんなで楽しんでプレーすることが出来ました。苦しい場面もたくさんありましたが、自分たちのやってきた練習は、どこにも負けないという強い気持ちで勝ち進むことが出来ました。

決勝戦では、自分たちのしてきたことを発揮でき、２点差で優勝することが出来ました。日本一になれたのも、自分たちだけの力ではなく、色々な面で支えてくださった方々のおかげだと思っています。

夏には、エースの２人も復帰するので、春の優勝で満足するのではなく、「夏」もう一度、日本一が取れるように「ZERO」からのスタートをして、更にレベルアップしていきたいと思います。



写真提供：スポーツイベント社

男子戦評

■準決勝　大体大浪商中学校　29(12−11、17−11)22　氷見北部中学校

7年ぶりの優勝を目指す大体大浪商（以下浪商）と、2年ぶりの決勝進出を目指す氷見北部（以下北部）、実力校同士の対戦となった準決勝は、浪商のスローオフでスタート。36秒下川のステップシュートで先制した浪商は、2分にも蔦谷の得点で2点をリード。しかし北部は、足を使って積極的に前に出る6-0DFとGK紅出の好守からリズムを取り戻し、3分から7分までに鎌仲のロング等で4連取し逆転。その後浪商はディスタンスを警戒しDFを3-2-1に変更、両チームの堅守が際立った一進一退の攻防となる。北部は徐々に浪商DFを攻めあぐね、パスミス・シュートミスから得点を許し、16分にはついに逆転されてしまう。さらに浪商は18分のタイムアウトからGKを1番の林から12番の湯地にチェンジし、3-2-1DF後相手の得点源となったサイドシュートやポストシュートからの得点を防ぎ1点リードで前半を折り返す。

後半浪商はハーフタイムで修正したであろう6-0DFに戻しスタート。3分までに北部に13対13と追いつかれるが、その後4連取し、この試合最大の4点差とする。得点の止まった北部はベンチが動き、9分以降継続的に7人攻撃を仕掛け本田のサイドシュートなどで追いすがる。しかし浪商の体で押し込んでくる攻めを止められず点差が縮まらないまま終盤を迎え、20分には5点差をつけられてしまう。北部は残り時間と点差から浪商泉本・安達にダブルマンツーマンDFを仕掛けるが、逆に広くなったDFの間を割られ点差が開いてしまい、最後は29対22で浪商が決勝進出を決めた。

両チームとも、全国大会常連校ならではのハイレベルな攻防やベンチワークが見られた好ゲームであった。

■準決勝　広島メイプルレッズジュニアスポーツクラブ　31(14−12、17−9)21　東久留米西中学校

広島メイプルレッズジュニアスポーツクラブ（以下、広島メイプル）のスローオフで始まった男子準決勝。開始40秒、広島メイプルは荒瀬のカットインシュートで先制。その後も山下のミドルシュート、阪田のサイドシュート等で連続得点をあげ、試合の主導権を握る。4対0になったところで、東久留米西はたまらずタイムアウトを請求。攻守の立て直しを図り、五十嵐の好セーブから、大久保の力強いステップシュートやカットインシュート等で応戦。一進一退の攻防を展開し、前半は広島メイプルが2点リードをして折り返した。

後半開始早々、広島メイプルは4連続得点をあげ、試合を決めにかかる。東久留米西は、ディフェンスシステムを変更して状況の打開を図るが、思うように得点が入らない時間が続いた。広島メイプルは、長身の林原をトップに置いたディフェンスが機能し、攻撃では個人技を生かした多彩なシュートで、9分過ぎから7連続得点を記録。終盤は、東久留米西が積極的なプレスディフェンスからの速攻等で追い上げるが、点差は縮まらず。

最終的には地力に勝る広島メイプルが31対21で東久留米西を下し、決勝進出を決めた。両チームともに、チームの特徴を出した好ゲームであった。

■決勝　大体大浪商中学校　32(16−14,10−12,延長2−3,4−2)31　広島メイプルレッズジュニアスポーツクラブ

高い個人能力で得点をあげる大阪体育大学浪商中学校と荒瀬を中心とした多彩な攻撃で得点をあげる広島メイプルレッズジュニアスポーツクラブの両チームとも攻撃力の高い好カードとなった。開始36秒で広島の3-2-1DFを泉本の鋭いカットインで初得点をあげる。硬さの見える広島であったが、エース荒瀬のロングシュートによりチームの硬さがとれ、林原のポストシュート、阪田のサイドからのロングシュートで徐々に得点し、荒瀬のロングシュートが決まり、堪らず大阪がタイムアウトをとる。落ち着きを取り戻した大阪は下川のサイドシュートで連続得点をとる。湯地の好セーブからDFのリズムをつかんだ大阪は坂井のパスカットからの速攻、下川の速攻で得点し流れをつかんだ。広島の2分間退場もあり勢いは止まらず16対14で逆転に成功した大阪のリードで前半を終えた。

後半は一進一退の展開となる。松川がポストシュートを決めると山下がロングシュートを決める。風呂内が徐々に大阪のシュートを止め始めると流れは広島に傾き、キーパーの活躍に応えるように山﨑がサイドシュートを決め19対19としたところで、すかさず大阪がタイムアウトをとる。しかし、勢いは止まらず阪田がシュートを決める。大阪も松川のカットイン、下川の速攻で着実に得点し、離されず1点を争う緊迫した展開となる。状況を打開しようと後半19分に広島がタイムアウトをとり風呂内の好セーブを中心とした固いDFをみせ、後半22分に小澤のカットインで広島が逆転に成功。しかし、広島のOFのミスを見逃さず松川の速攻で同点とする。大阪は後半24分にタイムアウトをとり、最後の攻撃を仕掛けるが、広島が守り切り26対26で延長戦に入った。

延長戦は広島のスローオフから始まった。1点のプレッシャーからか両チームとも硬さが見えたが、阪田のロングシュートが決まると、下川がミドルシュートを決める。小澤の退場を見逃さず、松川のポストシュートを決めるが、意地を見せた阪田が残り2秒でミドルシュートを決め広島1点リードで後半を迎えた。泉本、山下の正確なシュートが決まり緊迫した展開は続き、残り3秒で松川のポストシュートが決勝点となり、大阪体育大学浪商中学校の7年振り2回目の優勝で幕を閉じた。

両チームとも多彩な攻撃、素早い速攻、チーム一丸となった守備で会場中を魅了した好ゲームであった。

女子戦評

■準決勝　氷見北部中学校　21(8−5、13−8)13　住吉第一中学校

男女共に富山—大阪の好カード。まずは女子準決勝住吉第一からのスローオフ。先制点は開始２分の氷見北部長井のポストシュート。その後、両チームとも堅い守備に攻めあぐね、５分過ぎまで２対０。住吉第一がタイムアウトをとり、立て直しを図るが、またもや氷見北部の堅い守備に阻まれる。住吉第一が速攻で待望の１点目をもぎ取るが、11 分過ぎまでに氷見北部が２連続得点で４対１の３点差。その後、住吉第一有本、小泉のシュートで１点差となり、点差を詰められた氷見北部が 14 分過ぎにタイムアウト。これが功を奏し、氷見北部が両サイドのシュート、速攻が決まり３連続得点で６対３と住吉第一を引き離しにかかる。たまらず住吉第一が前半２回目のタイムアウト。その後、両チームとも１点ずつ追加した後、前半終了間際住吉第一湯原がサイドから技ありのループシュートを決め前半を８対５と折り返す。

後半開始後も両チーム一進一退の攻防が続く中、チーム警告が積み重なった住吉第一は喜田が退場。これを好機と見た氷見北部は住吉第一高橋にマンツーディフェンスを仕掛けるも、１点の追加だけとなる。後半８分で 13 対 8。退場した住吉第一もコートに戻ってリズムを取り戻し、小泉がサイドシュートを決めるも、氷見北部堀江のカットインシュートで 14 対 9。住吉第一も再び小泉のサイドシュートで１点返すも、氷見北部がサイドシュートを含め３連続得点を決め、17 対 10。たまらず住吉第一は最後のタイムアウト。しかし、タイムアウト後、氷見北部の速攻を防ごうとした住吉第一小泉が退場し、さらに 7mT スローのピンチを迎えるが、氷見北部はこれを外してしまう。後半 18 分までに、住吉第一は小泉の速攻も決まり 18 対 12 と氷見北部に追いつこうと迫る。しかし、試合終盤、退場者が出ながらも氷見北部は堀江のミドルシュートを含めた３連続得点を決める。住吉第一も 7mT スローで１点返すも力及ばず。最後は、堅守速攻を文字通り体現した氷見北部が決勝進出を決めた。

■準決勝　原川中学校　20(12−7、8−10)17　芦城中学校

芦城のスローオフで始まった準決勝。開始１分、原川の石川が中央からステップシュートを放ち先制に成功する。序盤は互いにフットワークを生かした DF、安定した守りで互いに得点を許さず、前半 10 分で２対４とロースコアな試合展開となる。流れを掴みたい芦城は、序盤にタイムアウトを要求。試合が再開し、芦城横山がミドルシュートを決めるが、なかなかいいリズムが生まれない。試合が動いたのは 13 分。原川は相手のミスから後藤のサイドシュート、石川のミドルシュートで連続得点し、差を４点に広げた。追いつきたい芦城は、横山と秋葉を中心とした攻撃で得点を試みるが、原川の固い 6-0DF を崩し切ることができず、前半は７対 12 で折り返した。

後半開始直後、原川は吉積のカットインから得点。6 点差とし、勢いに乗るかと思われた。しかし、芦城高来が躍動する。後半 10 分までにミドルシュートで４得点を挙げ、原川に流れを渡さない。後半 15 分、原川は吉積が２分間の退場。エースの石川にマークがつき、苦しい時間が続く。原川はサイドシュートから得点を狙うが、芦城のゴールキーパー井口の好セーブに阻まれる。追いつきたい芦城はセットプレーを多用し、横山が粘り強いポストプレーを見せたが、追いつくことができない。終始どちらに傾くかわからない試合だったが、序盤のリードを守りきった原川が 17 対 20 で決勝へと駒を進めた。

■決勝　原川中学校　20(13−9、7−9)18　氷見北部中学校

開催地代表の氷見北部と大分県代表原川の決勝戦は、氷見北部のスローオフで始まった。立ち上がり、氷見北部は流れるようなパス回しから渡辺のサイドシュートを中心に得点を重ねる。対する原川は、エースの石川がフリースローからミドルシュート、速攻で連続得点するなど能力の高さを発揮し、序盤は原川が主導権を握る。６分には、トリックプレーから山﨑がシュートを決めるなど、得点を重ねた。３点差がついたところで、氷見北部はたまらずタイムアウトを要求。すると、池永のサイドシュートが決まり、反撃の狼煙をあげる。その後も畑中がミドルシュートで連続得点を挙げるなど、原川との差を縮めようと迫る。いい流れに乗りたい氷見北部は 5-1DF にシステムを変更し、石川を封じる作戦に出た。DF が機能している間に追いつきたい氷見北部だが、原川は山﨑が速攻で、石川が技ありのブラインドシュートを決めるなど、追いすがる氷見北部に４点差をつけ、前半を折り返した。

後半、序盤は氷見北部に流れが傾いた。前半 10 分までに堀江が細かいステップで DF のシュートブロックを外し、ミドルシュートを決め、堀江、坂元が速攻からシュートを決めるなど、３連続で得点を重ねた。同点に追いつかれたところで、今度は原川がタイムアウト。タイムアウトが明けると、原川は山﨑、吉積の速攻で得点を重ね、再度突き放しを図る。19 分、氷見北部畑中が反則で２分間の退場になると、勢いは原川へ。安東が速攻で連続得点を挙げ、差を３点に広げる。試合終盤、原川はエースにマンツーマンをつけられるなど苦しい時間もあったが、終始逆転を許さず、持ち味を存分に発揮した原川が、この氷見の舞台で初の栄冠に輝いた。

寄稿

ストリートハンドボールの普及について

日本ストリートハンドボール普及プロジェクトメンバー
プロジェクトディレクター　棚橋伸男（札幌市）
プロジェクトマネージャー　渡辺広幸（函館市）
プランニングマネージャー　中島昭博（花巻市）
パブリックリレーションズマネージャー　南木貞夫（三郷市）



“ストリート○○”と称する街中イベント型スポーツが陸上・体操・バスケ・ラグビー等で台頭する中、ストリートハンドボールは 2006 年にデンマークで考案されて以来、世界中に普及しています。

2019 年熊本女子世界選手権、2020 年東京オリ・パラ及びその後に向けて、ハンドボール界の発展とファン層拡大に大きな可能性を秘めているストリートハンドボールを全国に拡げたいと考えています。スポーツイベント 3･4 月号『ハンドボール愛』に、これまでの取組みを連載して頂きましたのでご一読戴ければと存じます。

1．ストリートハンドボールの 7 つの特長

1 3人のコートプレーヤー（＋ゴールキーパー）が柔らかいボールをパスしながら相手ゴールにシュートし、得点を競い合う（又は、勝敗にこだわらずゲームを楽しむ）簡単なルールで、1 人ひとりのボールタッチが多く、気軽にどこでも安全に誰とでも楽しめます。

2 性別、年齢、経験等のレベルに応じて、初歩的なゲームから戦術を駆使した高度なゲームまで多様な楽しみ方ができ、世代間交流や健康増進事業に活用できます。

3 接触を禁止しているので、学校の体育授業やクラスマッチ及び地域の子どもから高齢者まで男女一緒に、バレー・バスケのコートなど既存施設および簡易ゴールを活用して、屋内外で手軽に楽しめます。

4 キーパーによる得点やスカイプレー・回転や股下からシュートなどスペクタクルな得点および男女混合の女性の得点を 2 点とし、娯楽性を重視しています。

5 総合型スポーツクラブや地域クラブの活動、公園・芝生広場などで家族同士や仲間とアウトドアライフを楽しむレクリエーションスポーツとして活用できます。

6 ショッピングモールや路上での祭り・イベントなどで、メディアを含み一般大衆にハンドボールの魅力を PR するツールとして活用できます。

7 未就学児や学童に、フェアプレー精神、スポーツマンシップ、正直、誠実、尊敬、信頼、責任、忍耐、礼儀などのライフスキルを養うための教材として活用が期待できます。

2．ストリートハンドボールのルール

チーム　：男女混成 6 人（コート上：3 名のプレーヤー＋ 1 名のゴールキーパー）

カテゴリー：U-6、U-8、U-10、U-12、U-15、一般、その他

コート　：年齢に応じて、4 m～ 6 mの半円形または直（曲）線エリアを作り、その外側にゴールを置く。コートのサイズは 10 m× 15 mなど自由。ストリート、街角、公園、スーパーマーケットの駐車場、ショッピングモールや駅前広場、屋内外どこでも可。

ボール　：専用ボール　欧州：SELECT（セレクト）、MIDAS（ミダス）、国内：モルテン
＊専用ボールが無いときは何でもよい。

ゴール　：小学生 2.4 m× 1.5 m 中・高生以上 3 m ×2 m　が望ましいがこだわらない。

ルール　：フェアプレーで誰でも（子供／青少年／高齢者）ゲームを楽しめます。
●タックルは禁止。シュートブロックだけ。



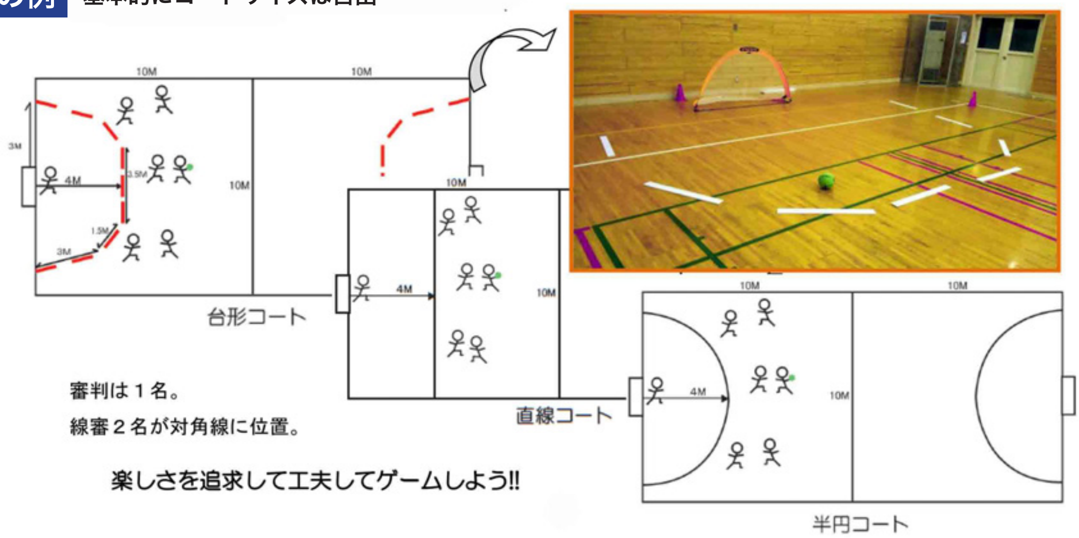
●空中または地上にあるときだけ相手ボールを取ることができる。
●ボールを持って歩くことができるのは最大３歩。
●ドリブルは禁止（パス・ステップ重視）。
＊ U-6（ミニストリートハンドボール）は、何歩歩いても可。
●各判定は審判の有無に関わらずプレーヤー間の対話を通して行われる。
●得点システム（または加点せずにプレー；ゲームの目的は楽しむこと）
１ポイント＝標準的なゴール
２ポイント＝背中や股間から放ったり、キーパーや男女混合チームの女性の得点、スカイプレーやピルエット（回転）などのスペクタクルなアクションによる得点（以上は審判の裁量による）。
●６mペナルティ（距離はレベルにより変更可、子どもは助走ステップ OK）
●試合時間：1×10 分または 2×10 分（チーム数に応じて変更可）
●センターからのスローオフでスタート。シュート前に３回パスを回す必要がある。
●永久ポジションはなく交代自由。キーパーは攻撃に加わることができる。
●ゲームの流れを大切にし、ゴールエリアラインを踏み越えたり、ボールを持って４歩以上歩いても見逃すことがあってよい。
●フェアプレー賞、ベストプレーヤー、トロフィーなどの各種アワード、DJ も取入れて楽しみましょう。

以上のルールは基本のガイドラインです。チームスピリットを楽しみましょう！

イベント／ツアー／チャレンジカップ／トーナメント／チャンピオンシップ／デンマーク、ストリートハンドボールインターナショナルとシェアしましょう！ www.streethandball.com

ストリートハンドボールインターナショナルは、屋外でのハンドボールを推奨しています。

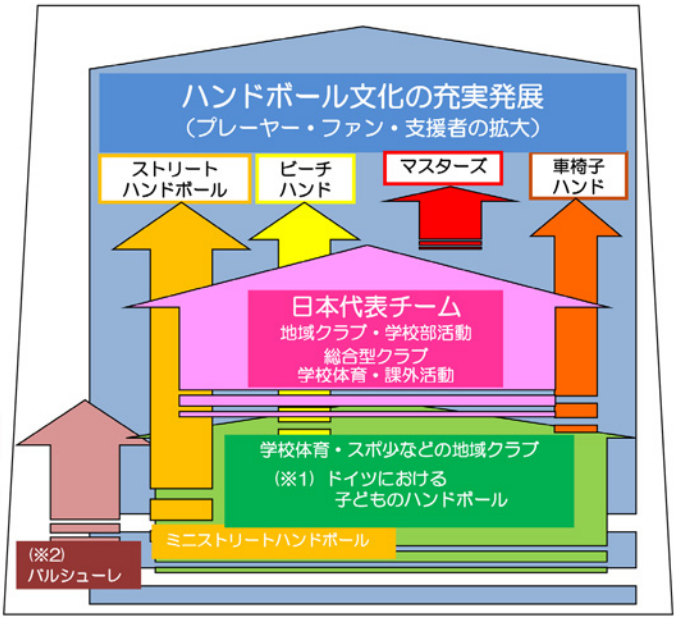
コートの例　基本的にコートサイズは自由



3．ストリートハンドボールの位置付け

イメージ図

成年
大学生
U-19　高校生
U-15　中学生
U-12　小学校高学年
U-10　小学校中学年
U-8　小学校低学年
U-6　未就学児





〔参考〕
※１「ドイツにおける子どものハンドボール実施規則」（2015/16 版）
https://jhacan.jimdo.com/
※２「バルシューレ」
https://ballschule.jp/
http://ballschule-japan.com/what/

4　ストリートハンドボールのあゆみ

2006 年　デンマークのセーレン（Søren Guldberg Kjær）が、**ストリートハンドボール**を考案。

2007 年　セーレンが、スイスで **Street Handball International** を設立、世界中に拡散中（※）。
　www.streethandball.com　http://www.streethandball.com/

※デンマーク、イギリス、スイス、フランス、スペイン、ドイツ、スウェーデン、ポルトガル、イタリア、スロベニア、ルーマニア、ベルギー、ギリシャ、エジプト、イスラエル、南アフリカ、アンゴラ、コンゴ、ケニア、モロッコ、アメリカ、メキシコ、コロンビア、ブラジル、チリ、ペルー、アルゼンチン、ドミニカ共和国、ウルグアイ、アラブ首長国連邦、インド、パキスタン、バングラディシュ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、シンガポール、中国、台湾、日本…

2008 年　元デンマーク代表選手のラッセ・ボーン（Lasse Boesen）が、**ストリートハンドボール・オリジナル**を設立。
　http://streethandball.org/side.asp?Id=124558

2017 年２月８日　2008 年から SH を調査してきた函館の渡辺広幸がセーレンと調印締結し、**Street Handball Japan** を設立。
　japan@streethandball.com　https://www.facebook.com/streethandballjapan/

5．ストリートハンドボールの活動上の留意点

◆楽しみながら、適切な活動を行いましょう♪

（1）子どもを対象とする場合は、特にも発育発達に適した練習メニューを提供して、個々の技能を伸ばすことを優先することを心掛けましょう！
　※（公財）日本体育協会「アクティブチャイルドプログラム」の「指導のノウハウ」、「安全管理上の配慮事項」、「指導者と保護者のためのチェックリスト」を参照のこと。　http://www.japan-sports.or.jp/portals/0/acp/index.html

（2）ラインマーカー、跳び箱、マット、フラフープ及び平均台などを活用して、子ども達が楽しみながら練習できる環境を工夫しましょう！

◆保護者等のハンドボール未経験者に主体者として関わってもらいましょう♪

指導、審判、大会イベント企画、広報、運営者（記録、式典）、DJ など

◆自立した経営企画とスポンサーの開拓に取り組みましょう♪

（1）地域社会に認められる経営理念を発信して、〇〇フェス・〇〇パーティー等のネーミングを工夫してプライベートカップを企画しましょう！

（2）スポンサー協賛企業団体協賛
　スーパー・百貨店、企業メーカー、青年会議所・商工会議所及びライオンズクラブ等を訪問して、活動の趣旨を理解していただき、支援者を開拓しましょう！

（3）toto（スポーツ振興くじ助成及びスポーツ振興基金助成）等の活用
　http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/acp/pdf/anzenn_checklist.pdf



Street Handball Japan
https://www.facebook.com/streethandballjapan/



Street Handball International
www.streethandball.com　http://www.streethandball.com/

ストリートハンドボールをシェアしましょう！

問い合わせは、japan@streethandball.com 又は、中島昭博（mail：a-nakashima@pref.iwate.jp）までお願いします。

ストリートハンドボールインターナショナルのリーフレット



1000日切った女子世界選手権

企画・広報委員
早川　文司

フリースロー
Free Throw

2019年一。日本ハンドボール界にとっては大事な1年である。ご存じのようにオリンピック東京大会の前年であり、熊本では女子世界選手権が開かれる。オリンピックで、世界選手権で日本はどんな結果が残せるか、ファン・サポーターの関心は高い。

3月5日、ちょうど1000日前となる世界選手権のイベントが開催地の熊本で行われ、カウントダウンボードが県庁と市役所に設置された。どこまでムードが盛り上がるか、いや、盛り上げられるか。球界に課せられた大きなテーマであることには、だれも異論はないはずである。

おりしも3月には韓国で女子のアジア選手権が開かれた。12月にドイツで行われる世界選手権のアジア枠を争う大会である。3位以内に出場権が与えられる。ここでの結果は「熊本」を占う試金石であり、それが翌年の東京オリンピックへ弾みをつけられるかどうか。球界関係者だけでなく、スポーツに関心のある人にとっても気になるところだ。

アジア選手権は2組に分かれ、各組上位2カ国がトーナメントで代表権を争った。日本の宿敵である韓国をはじめ中東勢が力をつける中での結果が注目された。幸いにもリーグで1位となり、準決勝でも中国に競り勝って決勝に進出したが、やはり韓国の厚い壁に阻まれ、トップの座には座れなかった。

しかし、世界選手権の切符はつかんだだけに、まずはひと安心というところ。世界選手権に向けて、今回の戦いぶりを詳細に分析し、強化に生かして熊本につなぐ道筋を描くことが重要だろう。

また、ウルリック監督が就任後に感じた長所・短所を踏まえ、今後の強化方針をどのように進化させていくか、手綱さばきも注目したい。

一方、シグルドソン新監督になった男子代表。強化合宿をしっかりとこなして、まずは“アジアの雄”に焦点を絞っての取り組みが大切。それには欧州勢などレベルの高い相手との国際試合は欠かせない。

いずれにしろ、男女のナショナルチームの動向からは、目が離せないのはもちろんである。女子は熊本から東京へ、男子は東京へ向けてどうレベルアップを図っていくかである。また、東京である程度の成果を示し、以後のオリンピック、世界選手権などで世界の強豪と渡り合える力をつけるため、一貫した指導方針のもと継続した施策をいち早く打ち立てることも、並行して実行に移していくべきだろう。

これまでの何度も指摘してきたが、トップの強化とともに、どのような手段で育成に力を注ぐかも、将来に向けての大きなテーマである。夢と希望のあるハンドボール界に期待したい。

ジャパネット杯第40回全国高等学校ハンドボール選抜大会

開催期日：2017年3月24日（金）～29日（水）
会　　場：神戸市・グリーンアリーナ神戸ほか

【男　子】

▼１回戦

神国際大附（兵庫）	29（8－9、14－13）27	コザ（沖縄）
	（4－1延長3－4）	
瓊浦（長崎）	32（20－13、12－17）30	高山西（岐阜）
法政第二（神奈川）	48（22－8、26－13）21	法隆寺国際（奈良）
千原台（熊本）	29（12－8、17－12）20	湯沢（秋田）
氷見（富山）	40（19－13、21－17）30	市川（千葉）
不来方（岩手）	31（17－9、14－11）20	鹿児島工業（鹿児島）
横浜創学館（神奈川）	41（19－15、22－13）28	岩国（山口）
中部大春日丘（愛知）	35（12－14、15－13）29	熊本国府（熊本）
	（3－0 延長 5－2）	
富岡（群馬）	29（13－10、16－12）22	科学技術（記念大会枠）
藤代紫水（茨城）	48（22－3、26－9）12	修道（広島）

▼２回戦

岩国工業（山口）	31（16－13、15－12）25	神国大附（兵庫）
駿台甲府（山梨）	32（12－15、20－10）25	小松工業（石川）
学法石川（福島）	24（14－10、10－13）23	瓊浦（長崎）
法政第二（神奈川）	36（18－15、18－12）27	香川中央（香川）
愛知（愛知）	25（13－9、12－9）18	千原台（熊本）
川西緑台（開催地）	20（10－7、10－11）18	浦和実業（埼玉）
小林秀峰（宮崎）	35（14－11、21－16）27	岡山理科大附（岡山）
氷見（富山）	35（15－15、15－15）34	大体大浪商（大阪）
	（1－3 延長 4－1）	
洛北（京都）	21（6－9、15－9）18	不来方（岩手）
明星（東京）	26（13－13、13－12）25	四日市工業（三重）
桃山学院（大阪）	35（17－14、18－11）25	市岐阜商業（岐阜）
横浜創学館（神奈川）	36（20－9、16－10）19	函館大有斗（北海道）
昭和学院（千葉）	29（18－13、11－14）27	中部大春日丘（愛知）
北陸（福井）	44（22－6、22－14）20	富岡（群馬）
松山工業（愛媛）	24（11－12、13－11）23	利府（宮城）
藤代紫水（茨城）	27（9－9、18－10）19	大分雄城台（大分）

▼３回戦

岩国工業	31（17－14、14－13）27	駿台甲府
法政第二	34（19－12、15－16）28	学法石川
愛知	34（18－10、16－6）16	川西緑台
氷見	38（15－12、15－18）35	小林秀峰
	（3－0 延長 5－5）	
洛北	32（19－5、13－15）20	明星
横浜創学館	30（17－13、13－15）28	桃山学院
北陸	30（14－13、16－14）27	昭和学院
藤代紫水	37（19－9、18－13）22	松山工業

▼準々決勝

法政第二	30（13－13、17－8）21	岩国工業
氷見	28（12－12、16－15）27	愛知
洛北	35（19－9、16－11）20	横浜創学館
北陸	36（17－12、19－14）26	藤代紫水

▼準決勝

法政第二	37（18－15、19－19）34	氷見
洛北	25（11－14、14－10）24	北陸

▼決　勝

法政第二	30（14－14、16－10）24	洛北

【女　子】

▼１回戦

四天王寺（大阪）	27（14－7、13－8）15	郡山女子大附（福島）
小松商業（石川）	28（15－9、13－13）22	立命館守山（滋賀）
市高津（神奈川）	20（11－5、9－4）9	清峰（長崎）
福井商業（福井）	22（13－8、9－12）20	浦和実業（埼玉）
明光学園（福岡）	27（18－7、9－7）14	星城（愛知）
富岡東（群馬）	22（13－6、9－12）18	湯沢（秋田）
大同大学大同（愛知）	29（12－9、17－8）17	鹿児島南（鹿児島）
聖和学園（宮城）	25（12－11、13－9）20	県岐阜商業（岐阜）
浦添商業（沖縄）	29（14－4、15－10）14	夙川学院（開催地）
四日市商業（三重）	19（10－5、9－7）12	昭和学院（千葉）

▼２回戦

水海道第二（茨城）	19（7－5、12－9）14	四天王寺（大阪）
城北（熊本）	29（11－9、18－13）22	飛騨高山（岐阜）
名古屋経済大学市邨（愛知）	32（17－7、15－10）17	小松商業（石川）
市高津（神奈川）	26（13－12、13－6）18	北海道帯広三条（北海道）
不来方（岩手）	36（19－9、17－5）14	福井商業（福井）
浦添（沖縄）	29（18－9、11－12）21	神戸星城（兵庫）
岩国商業（山口）	23（11－9、12－13）22	白梅学園（東京）
明光学園（福岡）	18（7－4、11－10）14	高松商業（香川）
洛北（京都）	18（8－8、10－9）17	富岡東（群馬）
玉野光南（岡山）	23（9－11、14－7）18	今治東中等教育学校（愛媛）
日川（山梨）	29（15－12、14－8）20	明石（記念大会枠）
大同大学大同（愛知）	21（10－7、11－9）16	高岡向陵（富山）
高水（山口）	39（20－5、19－12）17	聖和学園（宮城）
浦添商業（沖縄）	26（11－15、15－8）23	埼玉栄（埼玉）
佼成学園女子（東京）	40（21－4、19－11）15	添上（奈良）
四日市商業（三重）	36（17－7、19－13）20	大分（大分）

▼３回戦

水海道第二	33（17－9、16－14）23	城北
名古屋経済大学市邨	38（22－4、16－9）13	市高津
不来方	32（13－17、19－13）30	浦添
明光学園	29（12－9、17－14）23	岩国商業
洛北	22（13－7、9－11）18	玉野光南
大同大学大同	30（11－8、19－14）22	日川
高水	22（13－9、9－12）21	浦添商業
佼成学園女子	25（12－11、13－7）18	四日市商業

▼準々決勝

水海道第二	25（10－9、9－10）22	名古屋経済大学市邨
	（4－1 延長 2－2）	
明光	33（15－12、18－10）22	不来方
大同大学大同	24（16－11、8－9）20	洛北
佼成学園女子	28（16－9、12－14）23	高水

▼準決勝

水海道第二	29（12－12、17－9）21	明光学園
佼成学園女子	24（15－8、9－9）17	大同大学大同

▼決　勝

佼成学園女子	23（16－12、7－9）21	水海道第二

スコアールーム②

第12回春の全国中学生ハンドボール選手権大会

開催期日：2017年3月25日（土）～29日（水）
会　　場：氷見市ふれあいスポーツセンター

【男　子】

▼１回戦

延岡（宮崎）41（21－4、20－5）9 八万（徳島）
総社西（岡山）26（16－12、10－15）27 大体大浪商（大阪）
とびうめジュニア（福岡）30（11－19、19－18）37 呉羽（振興枠）
大住（京都）23（11－11、12－11）22 戸塚西（埼玉）
岐陽（山口）29（20－0、9－4）4 彦根東（滋賀）
本宮第一（福島）18（10－12、8－7）19 稲田（神奈川）
ヴァルト岐阜（岐阜）22（10－14、12－16）30 高砂（宮城）
舞鶴（鹿児島）16（9－7、7－10）17 小山第三（栃木）
諫早（長崎）22（12－10、10－17）27 寺井（石川）
広島メイプルJr（広島）27（14－5、13－8）13 岩井（茨城）
塩江（香川）21（7－11、14－11）22 若松（千葉）
笹川（三重）22（9－8、13－5）13 東大寺学園（奈良）
柏刈ＨＣ（新潟）7（2－15、5－20）35 岩出第二（和歌山）
神埼（佐賀）25（15－7、10－14）21 甘楽（群馬）
ＬＨＣ静岡（静岡）18（9－19、9－13）32 氷見西條（富山）
滝尾（大分）28（14－7、14－12）19 野辺地（青森）

▼２回戦

更埴西（長野）18（9－13、9－6）19 延岡（宮崎）
大体大浪商（大阪）33（21－8、12－7）15 山梨南（山梨）
尾花沢（山形）17（7－22、10－19）41 呉羽（振興枠）
大住（京都）10（6－9、4－8）17 滝ノ水（愛知）
松橋（熊本）18（9－5、9－12）17 岐陽（山口）
稲田（神奈川）14（9－7、5－12）19 桔梗（北海道）
土佐（高知）16（7－13、9－12）25 高砂（宮城）
小山第三（栃木）14（4－20、10－19）39 氷見北部（開催地）
高砂（兵庫）39（19－17、20－17）34 寺井（石川）
広島メイプルJr（広島）32（13－4、19－11）15 矢巾北（岩手）
沖縄東（沖縄）33（15－13、18－12）25 若松（千葉）
笹川（三重）16（5－23、11－16）39 明倫（福井）
湯沢北（秋田）42（10－13、20－17）34 岩出第二（和歌山）
（5－2 延長 7－2）
神埼（佐賀）24（14－6、10－6）12 境港第二（鳥取）
東久留米西（東京）24（8－12、16－9）21 氷見西條（富山）
滝尾（大分）14（5－9、9－8）17 久米（愛媛）

▼３回戦

延岡（宮崎）18（6－19、12－14）33 大体大浪商（大阪）
呉羽（振興枠）24（8－8、8－8）25 滝ノ水（愛知）
（2－2 延長 3－3）（3 7mt 4）
松橋（熊本）26（15－6、11－10）16 桔梗（北海道）
高砂（宮城）22（11－12、11－13）25 氷見北部（開催地）
高砂（兵庫）23（11－18、12－26）44 広島メイプルJr（広島）
沖縄東（沖縄）26（10－17、16－23）40 明倫（福井）
湯沢北（秋田）25（9－11、15－13）30 神埼（佐賀）
（1－2 延長 0－4）
東久留米西（東京）25（11－8、14－4）12 久米（愛媛）

▼準々決勝

大体大浪商（大阪）20（9－9、11－8）17 滝ノ水（愛知）
松橋（熊本）25（13－14、12－13）27 氷見北部（開催地）
広島メイプルJr（広島）25（12－10、13－13）23 明倫（福井）
神埼（佐賀）14（4－15、10－17）32 東久留米西（東京）

▼準決勝

大体大浪商（大阪）29（12－11、17－11）22 氷見北部（開催地）
広島メイプルJr（広島）31（14－12、17－9）21 東久留米西（東京）

▼決　勝

大体大浪商（大阪）32（16－14、10－12）31 広島メイプルJr（広島）
（2－3 延長 4－2）

【女　子】

▼１回戦

土佐（高知）11（4－16、7－16）32 光陽（福井）
境港第二（鳥取）37（23－4、14－8）12 多久中央（佐賀）
吹上（栃木）13（1－10、12－8）18 立命館守山（滋賀）
三郷北（埼玉）24（13－11、9－11）26 氷見十三（富山）
（2－2 延長 0－2）
隼人（鹿児島）22（14－8、8－11）19 朝明（三重）
岩国（山口）18（9－8、9－8）16 大住（京都）
塩山（山梨）11（2－11、9－10）21 花巻（岩手）
氷見北部（開催地）22（13－4、9－9）13 下稲吉（茨城）
鶴城（熊本）11（4－8、7－4）12 総社西（岡山）
尾花沢・玉野（山形）6（3－13、3－16）29 神森（沖縄）
山内（神奈川）17（10－0、7－4）4 清水第二（静岡）
住吉第一（大阪）29（15－3、14－6）9 埴生（長野）
7beat（岐阜）8（3－8、5－11）19 香川第一（香川）
望海（兵庫）33（19－5、14－3）8 日野（長崎）
ＨＣ江津（島根）8（3－14、5－12）26 富岡南（群馬）

▼２回戦

大洲（千葉）22（9－13、13－14）27 光陽（福井）
春吉（福岡）11（5－9、6－7）16 中田（宮城）
扇台（愛知）16（11－3、5－5）8 境港第二（鳥取）
立命館守山（滋賀）13（4－15、9－10）25 芦城（石川）
上（奈良）10（5－12、5－14）26 氷見十三（富山）
隼人（鹿児島）27（14－9、13－6）15 今治東（愛媛）
本通（北海道）14（2－11、12－12）23 岩国（山口）
花巻（岩出）11（6－12、5－12）24 原川（大分）
鳴門第一（徳島）4（3－19、1－15）34 氷見北部（開催地）
総社西（岡山）21（14－9、7－7）16 石川（福島）
岩出第二（和歌山）13（3－17、10－6）23 神森（沖縄）
山内（神奈川）17（6－4、11－3）7 甲田・亀山・メイプルJr（広島）
東久留米西（東京）19（11－9、8－11）20 住吉第一（大阪）
香川第一（香川）25（12－9、13－7）16 延岡・岡富（宮崎）
湯沢南（秋田）6（2－23、4－15）38 望海（兵庫）
富岡南（群馬）15（4－12、11－10）22 呉羽（振興枠）

▼３回戦

光陽（福井）19（11－4、8－7）11 中田（宮城）
扇台（愛知）11（8－7、3－7）14 芦城（石川）
氷見十三（富山）20（6－8、14－7）15 隼人（鹿児島）
岩国（山口）10（4－12、6－13）25 原川（大分）
氷見北部（開催地）21（11－3、10－8）11 総社西（岡山）
神森（沖縄）16（11－5、5－6）11 山内（神奈川）
住吉第一（大阪）16（6－6、10－6）12 香川第一（香川）
望海（兵庫）16（8－7、8－8）15 呉羽（振興枠）

▼準々決勝

光陽（福井）16（10－12、6－9）21 芦城（石川）
氷見十三（富山）15（7－14、8－14）28 原川（大分）
氷見北部（開催地）11（6－3、5－5）8 神森（沖縄）
住吉第一（大阪）15（8－4、7－5）9 望海（兵庫）

▼準決勝

芦城（石川）17（7－12、10－8）20 原川（大分）
氷見北部（開催地）21（8－5、13－8）13 住吉第一（大阪）

▼決　勝

原川（大分）20（13－9、7－9）18 氷見北部（開催地）